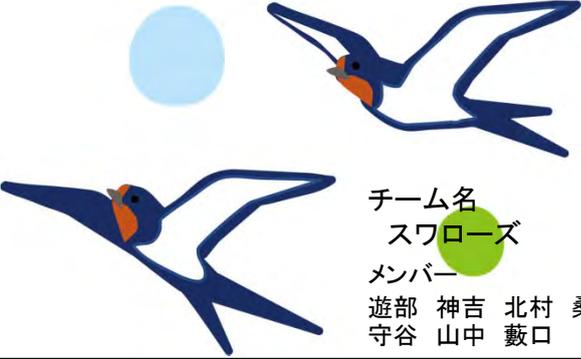


つばめ日本旅列島
 ～ツバメの暮らしから自分の未来を考えよう！～



チーム名
 スワローズ

メンバー
 遊部 神吉 北村 桑辺
 守谷 山中 藪口

グループ名の由来



ツバメ(野鳥)が好きな方がいてチーム名がスワローズとした。

子どもたちに鳥から自然環境について学ぶ
 プログラムを提案

拠点チーム

環境学習施設での実施プログラムを想定提案施設
 兵庫県佐用郡「ひょうご環境体験館」

ひょうご環境体験館について



- 地球温暖化をはじめとする環境問題について子どもから大人まで「気づき」「学び」「知る」ことのできる体験型環境学習施設
- 館内
シアター、わんぱく広場、地球工房
- 開催
エコ工作、料理、音楽コンサートなど

わたしたちの環境学習プログラムのねらい

- 子どもたちが身近な環境問題について知る
- 自分のところで感じ、頭で考える
- もっと知りたいという探求心が広がる



日常生活につながる環境意識を育てる

プログラム概要

タイトル つばめ旅列島
 ～ツバメの暮らしから自分たちの未来を考えよう！～

対象 小学生2.3年生 個人 姫路近隣小学校

定員 40人(事前申し込み)

参加費 800円/人

申し込み方法 事前申し込み(申し込み多数の場合は抽選)

実施場所 ひょうご環境体験館(現地集合)

時間 10時～15時(受付 9時30分～)※計5時間 昼休憩1時間含む

時期 7月後半(夏休み期間)

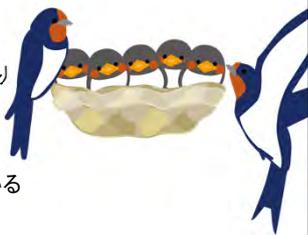
内容 野鳥観察などのフィールドワークと
 “ツバメ”を題材にした環境学習

1. なぜ 2から3年生なのか

- 環境の見方や考え方を広げ、仲間ともに協力し理解を深める時期
- 学校の授業で環境教育が組み込まれている

2. なぜ 開催時期が7月後半なのか

- 夏休みの思い出に
- 夏休みの自由研究にも
- ツバメの観察時期にぴったり



3. なぜつばめなのか

- 人の暮らしのつながり
- 益鳥としての親しまれている

プログラム

10:00から15:00 (9:30受付)

内容詳細

- 1 10:00 あいさつ、鳥の説明
- 2 10:30 FW
- 3 11:30 鳥のくらし 森、街の鳥の種の紹介
- 4 12:00 昼食(休憩) 森の中での昼食
- 5 13:00 ツバメの具体的内容と環境変化について
鳥と人との今と昔の違い
- 6 13:45 人と鳥の未来について、感じたことの絵を描く
- 7 14:15 描いた絵についての発表
- 8 14:45 まとめ
- 9 15:00 解散



プログラム

10:00から15:00 (9:30受付)

内容詳細

- 1 10:00 あいさつ、鳥の説明
- 2 10:30 FW
- 3 11:30 鳥のくらし 森、街の鳥の種の紹介
- 4 12:00 昼食(休憩) 森の中での昼食
- 5 13:00 ツバメの具体的内容と環境変化について
鳥と人との今と昔の違い
- 6 13:45 人と鳥の未来について、感じたことの絵を描く
- 7 14:15 描いた絵についての発表
- 8 14:45 まとめ
- 9 15:00 解散



プログラム

10:00から15:00 (9:30受付)

内容詳細

- 1 10:00 あいさつ、鳥の説明
- 2 10:30 FW
- 3 11:30 鳥のくらし 森、街の鳥の種の紹介
- 4 12:00 昼食(休憩) 森の中での昼食
- 5 13:00 ツバメの具体的内容と環境変化について
鳥と人との今と昔の違い
- 6 13:45 人と鳥の未来について、感じたことの絵を描く
- 7 14:15 描いた絵についての発表
- 8 14:45 まとめ
- 9 15:00 解散



プログラム

10:00から15:00 (9:30受付)

内容詳細

- 1 10:00 あいさつ、鳥の説明
- 2 10:30 FW
- 3 11:30 鳥のくらし 森、街の鳥の種の紹介
- 4 12:00 昼食(休憩) 森の中での昼食
- 5 13:00 ツバメの具体的内容と環境変化について
鳥と人との今と昔の違い
- 6 13:45 人と鳥の未来について、感じたことの絵を描く
- 7 14:15 描いた絵についての発表
- 8 14:45 まとめ
- 9 15:00 解散



プログラム

10:00から15:00 (9:30受付)

内容詳細

- 1 10:00 あいさつ、鳥の説明
- 2 10:30 FW
- 3 11:30 鳥のくらし 森、街の鳥の種の紹介
- 4 12:00 昼食(休憩) 森の中での昼食
- 5 13:00 ツバメの具体的内容と環境変化について
鳥と人との今と昔の違い
- 6 13:45 人と鳥の未来について、感じたことの絵を描く
- 7 14:15 描いた絵についての発表
- 8 14:45 まとめ
- 9 15:00 解散



プログラム

10:00から15:00 (9:30受付)

内容詳細

- 1 10:00 あいさつ、鳥の説明
- 2 10:30 FW
- 3 11:30 鳥のくらし 森、街の鳥の種の紹介
- 4 12:00 昼食(休憩) 森の中での昼食
- 5 13:00 ツバメの具体的内容と環境変化について
鳥と人との今と昔の違い
- 6 13:45 人と鳥の未来について、感じたことの絵を描く
- 7 14:15 描いた絵についての発表
- 8 14:45 まとめ
- 9 15:00 解散



私たちのプログラムの特徴

「表現する」時間
制作 発表する

1日のふりかえり
子どもたち一人ひとりが絵と文でカルタ風に

「つばめカルタ」

文のカード

来年ツバメに会うためには
ツバメについての不思議
すごいと思ったことなど

絵のカード

ツバメの絵を思い思いに

「つばめ旅列島カルタ」 モニュメント

■ 子どもたちが書いたカルタを壁面に特製日本地図に飾り付ける
ツバメが日本に渡る姿とイメージを重ねる

来年もツバメが日本に来るために私たちにできることはなにか？

■ 子どもたちの絵が体験館に来る他の利用者にもメッセージとして
投げかける環境保全のシンボルモニュメントに進化

■ プログラムで使用した教材の展示やツバメの生態について
フォトギャラリー、ツバメと環境問題のパネル展示
1つのプログラムではなく展示スペースを活用し、
その後もプロジェクトとして展示を活用



予算

備品名	金額(円)
コピー用紙(500枚入り)	369
カルタ用紙(100枚入り)	1080
印刷代	1200
貼りパネル(H-1 6枚入り)	10162
ペン(12色 3セット)	4656
色鉛筆(12色 3セット)	1539
はさみ(1つ)	108
のり(1つ)	60
セロハンテープ(1つ)	61
印刷費(1つ)	108
謝礼(講師)	5000
スタッフ 3人(交通費、 弁当代等)	7500
合計	31972

最後に

ツバメを題材は数多くある

あるものをよりよく組み合わせ

「子どもたちがワクワクする環境学習プログラム」

既にある
展示やプログラム



私たちの考案した
プログラム

地球温暖化に
ついて考えるイベント



ご清聴ありがとうございました！！